

野菜の有機栽培で発生した病害

野菜の有機栽培の実証ほ場を設置し、2年間にわたって病害虫の発生を調査した結果、施設栽培で3品目9病害を、露地栽培で2品目3病害の発生を認めました。

○野菜の有機栽培で発生を認めた主な病害

表1 有機栽培転換ほ場で栽培された作物に発生した病害

| 栽培様式 | 作物名 | 発生した主な病害 |
|------|------|--------------------------------|
| 施設栽培 | トマト | 青枯病、葉かび病、すすかび病、灰色かび病、うどんこ病、輪紋病 |
| | ピーマン | 青枯病、うどんこ病、斑点病 |
| | キュウリ | 苗立枯病、うどんこ病、べと病 |
| 露地栽培 | ナス | 褐色輪紋病 |
| | キュウリ | 苗立枯病、べと病 |

○栽培上問題となる主な病害と対策

・トマト青枯病

【発生状況】 土壌伝染性の防除が困難な病害です。本病が発病すると、株全体が萎れた後に枯死し、感染株から隣接株へ伝染します（写真1）。

【対策】 土壌還元消毒と抵抗性品種の接ぎ木の組み合わせが効果的で、発病が激しいほ場では、本病に感染しないイネ科作物等との輪作が必要です。

・キュウリべと病

【発生状況】 葉を侵す病害で下葉から感染し、まん延すると落葉しひどい場合には枯れ上がります（写真2、図1）。

【対策】 マルチを敷き、換気をして除湿を行って予防します。発病初期のうちに発病葉を除去して、肥料切れしないように管理し、健全葉を確保するため、わき芽から新葉を発生させるよう管理することが重要です。

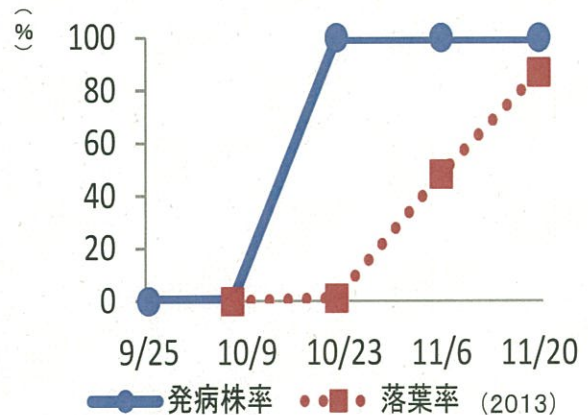


写真1 トマト青枯病 写真2 キュウリべと病 図1 キュウリべと病の発生消長と落葉率 (2013)

問い合わせ先：資源環境研究部病虫科（担当：福間貴寿、小塚雅弘）TEL：0853-22-6905

E_mail：nougi@pref.shimane.lg.jp